

| Minami Kyushu University Syllabus | | | | | | | | | | |
|-----------------------------------|--|---------|---------|------|--------|--------|----|----------------|-----------|--|
| シラバス年度 | 2024年度 | 開講キャンパス | 都城キャンパス | 開設学科 | 環境園芸学科 | | | | | |
| 科目名称 | 園芸学概論 | | | | | 授業形態 | 講義 | | | |
| 科目コード | 710127 | 単位数 | 2単位 | 配当学年 | 1 | 実務経験教員 | | アクティブ ラーニング | | |
| 担当教員名 | 長江 嗣朗、廣瀬 大介、姜 暲求、山口 健一、菅野 善明、陳 蘭庄、前田 隆昭、杉田 亘 | | | | | | | | ICT活 用 | |
| 授業概要 | <p>本授業の目的は、園芸学分野に関する基本的な知識を習得することである。【知識・理解の育成】 講義は園芸学分野（園芸生産環境専攻、植物バイオ・育種専攻）の教員がオムニバスで実施する。</p> | | | | | | | | | |
| 関連する科目 | 1年時前期必修科目『環境園芸概論』に引き続き行う。 | | | | | | | | | |
| 授業の進め方 と方法 | 授業は板書とパワーポイントを用いて行う。随時、プリントなども配布する。 | | | | | | | | | |
| 授業計画 【第1回】 | 1. ガイダンス・落葉果樹類の概要について（前田隆昭） 果樹園芸学とはどのような学問かについて学習する。 | | | | | | | | | |
| 授業計画 【第2回】 | 2. 常緑果樹類および熱帯果樹類の品種動向について（前田隆昭） | | | | | | | | | |
| 授業計画 【第3回】 | 3. ヒトと花のかかわりについて（長江嗣朗） 歴史上花がヒトとどのようにかかわってきたのかを学習する。 | | | | | | | | | |
| 授業計画 【第4回】 | 4. 花卉園芸学の概要と現状（長江嗣朗） 国内における花卉の生産状況および流通状況について、過去から現在までの変遷を学習する。 | | | | | | | | | |
| 授業計画 【第5回】 | 5. 作物根系の役割と機能・形態の調査方法（廣瀬大介） | | | | | | | | | |
| 授業計画 【第6回】 | 6. 変化を求められる農業（廣瀬大介） | | | | | | | | | |
| 授業計画 【第7回】 | 7. 果実産業の現状と貿易について（姜 暲求） | | | | | | | | | |
| 授業計画 【第8回】 | 8. 蔬菜産業の現状と貿易について（姜 暲求） | | | | | | | | | |
| 授業計画 【第9回】 | 9. 園芸生産の環境上の問題点（山口健一） 農薬や化学肥料、エネルギー消費の現状について学習する。 | | | | | | | | | |
| 授業計画 【第10回】 | 10. 植物栽培環境の生物的改善（山口健一） 有用微生物や植物等生物機能の農業利用について学習する。 | | | | | | | | | |
| 授業計画 【第11回】 | 11. 蔬菜園芸学における在来野菜の文化財としての魅力と品種改良①（陳 蘭庄） | | | | | | | | | |

| | |
|-----------------|--|
| 授業計画【第12回】 | 12. 園芸作物におけるバイオテクノロジー技術の利用について（1）（杉田 亘） |
| 授業計画【第13回】 | 13. 園芸作物におけるバイオテクノロジー技術の利用について（2）（杉田 亘） |
| 授業計画【第14回】 | 14. 植物病理学入門ー演習入門ー（菅野善明） |
| 授業計画【第15回】 | 15. 植物病原体の分離・同定の実際（菅野善明） 順番および内容は変更されることがあります。 |
| 授業の到達目標 | 1. 園芸学の基礎を理解しながら、栽培や生産および育種関係の基礎知識を習得する。【専門分野の知識・理解の育成】 2. 園芸学分野で学ぶ上で、必要となる基礎的な専門用語も併せて習得する。【専門分野の知識・理解の育成】 |
| 学位授与の方針(DP)との関連 | 1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1) |
| 授業時間外学習【予習】 | 本授業の1回目に15回分の授業のテーマを紹介するので、予め基礎知識を学習しておく。（1時間程度） |
| 授業時間外学習【復習】 | 授業後には授業内容に関連した論文や資料等で学びを深めること。また、各回ごとに課題を作成する。（1時間程度） |
| 課題に対するフィードバック | 最終試験は、試験終了後に解説を行う。 |
| 評価方法・基準 | 各回ごとに課された課題から総合的に評価する。 |
| テキスト | 必要に応じ、随時配布する。 |
| 参考書 | なし |
| 備考 | |